

ダムの洪水調節機能について

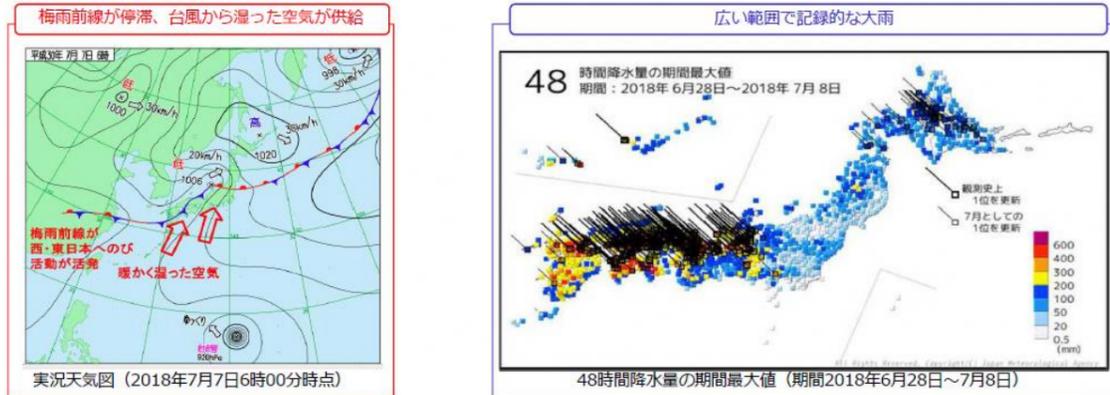
1、近年、雨の降り方が変化

- この30年間で、時間雨量50mmを上回る大雨の発生件数は約1.4倍、時間雨量80mmは約1.7倍、時間雨量100mmは約1.7倍に増加。
- これまで比較的降雨の少なかった北海道・東北でも豪雨が発生。
- 今後も気候変動の影響により、水害の更なる頻発・激甚化が懸念。



2、平成30年7月豪雨による降雨(概要)

- 梅雨前線等の影響によって、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり、7月の平年の月降水量の4倍となる大雨を記録したところがあった。
- 特に長時間の降水量について多くの観測地点で観測史上1位を更新し、24時間降水量は76地点、48時間降水量は124地点、72時間降水量は122地点で観測史上1位を更新した。

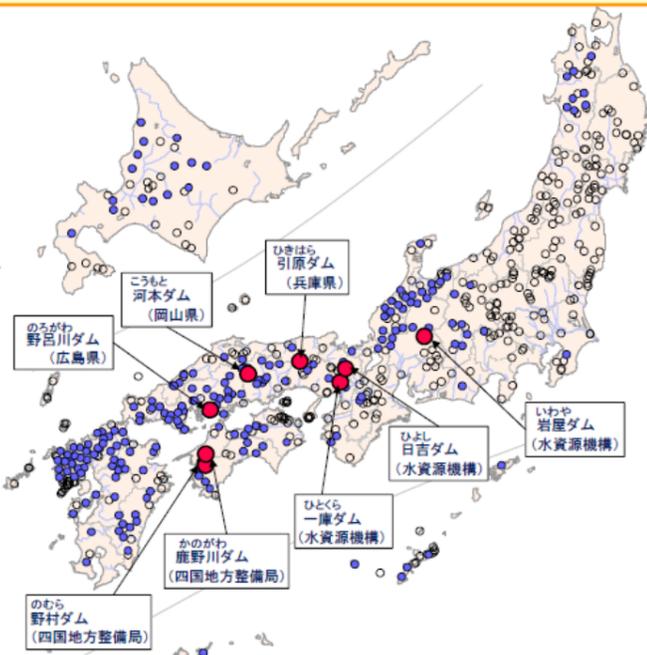


3、平成30年7月豪雨 国土交通省所管ダムの防災操作(洪水調節)の状況

- 国土交通省が所管する558ダムのうち、213ダムにおいて防災操作(洪水調節)を実施。
- ダムで洪水を貯留することにより、下流河川の水位を低下させ、流域の被害軽減・防止効果を発揮。
- なお、8ダムで、異常洪水時防災操作を実施。

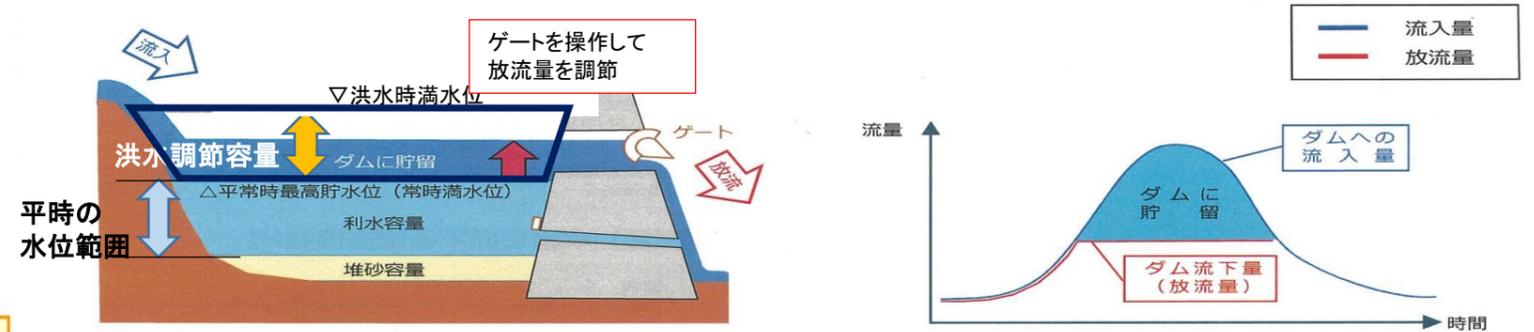
洪水時に洪水時満水位を超えると予測される場合に、ダムからの放流量を流入量まで徐々に増加させ、「流入量=放流量」とする操作のこと

- 【凡例】
- : 防災操作(洪水調節)を実施していないダム
 - : 防災操作(洪水調節)を実施したダム
 - : 異常洪水時防災操作を実施したダム



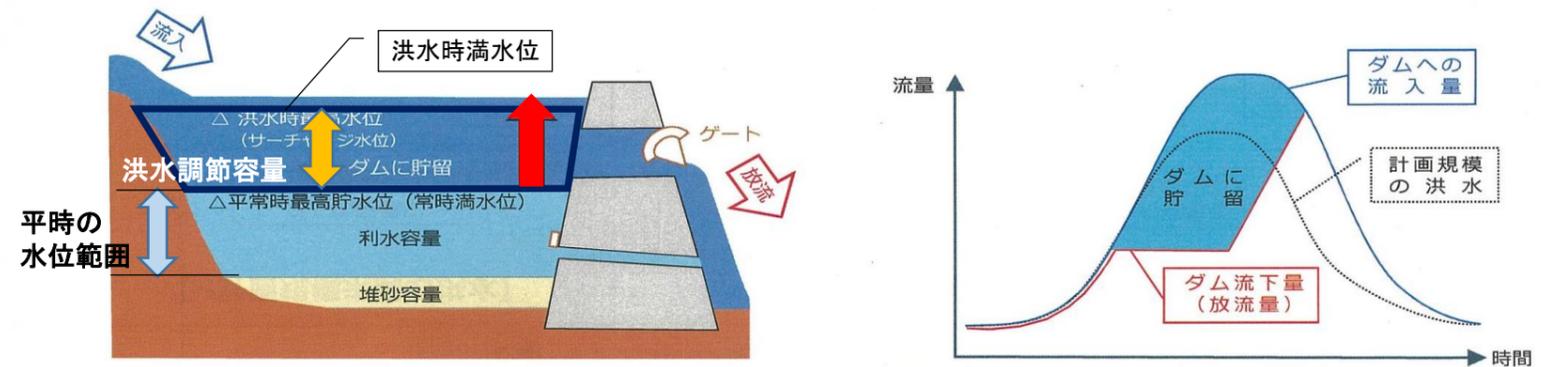
4、ダムの洪水調節 ~計画規模(※)未満の洪水の場合~

ダムに流入する洪水をダムに貯め、流入量の一部を放流します



5、ダムの洪水調節 ~計画規模(※)を上回る洪水の場合~

計画を上回る洪水により、洪水調節容量が一杯になると、ダムに流入する洪水をそのまま放流します



※：和田川ダムをはじめ県土木部が管理するダムは、50年に1回程度発生する降雨を対象としています

《和田川ダムの状況》

和田川ダム概要(砺波市増山)
形式:重力式コンクリートダム
堤高:21.0m
堤長:137.0m
堤体積:22.5km³
総貯水容量:3,070km³
うち洪水調節容量:1,200km³

- 本協議会内にある県土木部が管理するダム(11ダム)
- 富山市 ... 室牧ダム、熊野川ダム、久婦須川ダム
 - 砺波市 ... 和田川ダム
 - 小矢部市 ... 子撫川ダム
 - 南砺市 ... 利賀川ダム、城端ダム、境川ダム
 - 上市町 ... 上市川ダム、上市川第2ダム
 - 立山町 ... 白岩川ダム



洪水時は、ゲート进行操作して放流量を調整しますが、計画規模を上回る洪水の場合は、流入する量と同量を放流します。